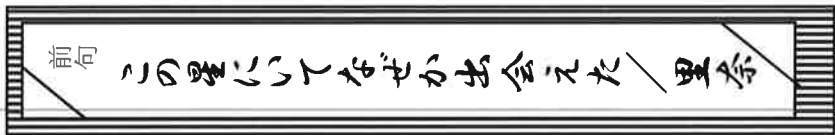


付けてみませんか



前句（まえく）の七七句をよく読んで、思い浮かべたことを五七五句にして付けてください。経験でも想像でも。

（この星にいてなぜか出会えた）

例1 花火見るつないでる手は離れない

千夢

恋の句歓迎。わきあがる思い。相手の姿。魅力はどこ？ ふたりの今後の展開は？ 二句で小説やドラマの一場面を作りましょう。

（この星にいてなぜか出会えた）

例2 バレー部の今日はじゅうじゅうバーベキュー だん

友人。先生。そして家族。ペット。辛いとき楽しいときをともに生きる仲間たちとのできごとを。葛藤や感動、大笑いも句に。

（この星にいてなぜか出会えた）

例3 野外フェス涙あふれるボーカルに

ドリー

自分の興味のあること。遊び、趣味、勉強などからも素材を見つけてましょ。憧れのスター選手の演技の瞬間もよし。進化する現代のテクノロジーも。もちろん宇宙もの、SFもどうぞ。あ、妖怪も！

（この星にいてなぜか出会えた）

例4 大とかけガラパゴス島から来たという

しゃい

この星にありとあるもの。珍しい動物、身近な虫、魚、木や草花たちにも目をとめて。めぐる季節、大自然の風景句もせひ。詩人は抽象世界に飛翔して。さあ、脳と心の体操、がんばれー！

応募用紙

付け句（五七五句） **（この星にいてなぜか出会えた）** 里奈

作者名（本名）

ペンネーム

学校名

※七文字以内

学校

学年

組

先生のお名前

電話（個人応募の場合）

住所（個人応募の場合）〒

1 付け句とは？
誰かの句に誰かが句を付ける！

★日本の伝統文芸の連句（俳諧連歌）は、誰かの句に誰かが付けるコミュニケーション文芸です。原則として五七五句（長句）に七七句（短句）を、七七句には五七五句を付けます。

★私たちの日々の暮らしの中にある人生のおもしろさ、かなしさ、感動を句にして共に語り合ひましょう。

★今年で二十四年目を迎える中日新聞連載『付けてみませんか』（矢崎藍桜花学園大学客員教授）は前句を出題して読者の付け句を楽しむコラムです。このコラムとタイアップして、第十二回全国高校生付け句コンクールを行います。ぜひ楽しみながら挑戦してみてください。

2 付け句の原則

★今回の付け句は五七五句です。五七・五は声に出したときの音数です。

- 写真 しやしん（3音）
- 先生 せんせい（4音）
- さつきのしらせ（7音）
- プラットホーム（7音）

3 賞

- ★特賞（九句）賞状と 図書カード五千円分
- ★秀逸（十六句）賞状と 図書カード五千円分
- ★入選・優（五十句）賞状
- ★入選（百句）賞状

★上の応募用紙一枚に三句まで書けます。

★本名は必ず書いてね。ペンネームもオーケーです。

